

要援護世帯除雪費支援を「全市統一し72,100円に改善」など

橋爪議員が総括質疑を予定

3月定例議会に提案される各議案に対して、日本共産党議員団は橋爪議員が代表して総括質疑(提案に対する疑問などをたずねる)を1日午後(予定)に行います。予定している質疑の内容は次の通りです。

- ① 市役所の組織に関して、「第7次総合計画の着実な推進に向け、複雑化・多様化する行政課題に対する的確かつ迅速に対応するため」などとして、企画政策部を「総合政策部」に再編するほか、新たに「環境部」「こども・子育て部」「文化観光部」を設置するとしています。そこで、この件と副市長との関連をどう整理したのかを問います。
- ② 「大潟工業団地を整備する」予算案が計上されていますが、この整備はこれまでのオーダーメイド方式とどう異なるのかをたずねます。
- ③ 地域活動支援事業に代わり、「地域独自の予算」として各種の事業が計画されていますが、実際には事業ごとにいろいろな分野で予算配分が行われています。そこで、こうした仕組みで全体像の把握などの統括的な管理が的確に行われるかを問います。



- ④ 農業振興として、地域おこし協力隊を活用した担い手育成事業が計画されています。そこで、従来の地域おこし協力隊との違いについてたずねます。
- ⑤ 「地域包括支援センターの機能強化」が計画されていますが、具体的にどのような内容で機能強化を図るのか、また、その裏付けとなる予算措置はどのように行うのかをたずねます。
- ⑥ 介護予防の観点で、各地域の住民組織等が「通いの場」などを運営しています。これらに対して、一定の参加率を超えた場合に委託料の増額や表彰を行う顕彰制度を創設するとしています。介護行政においてどのような効果を期待しているのかをたずねます。

上越市 新年度予算案(3月議会議案)を発表

上越市は20日、2024年度の一般会計予算案などを発表しました。それによると、予算規模は947億円あまりと、今年度当初予算に比べて30億円程度減少しています。制度融資の預託金などを除いた実質予算額は12億円あまり増えています。予算案の中には、これまで市民の間から強い要望が出され、日本共産党議員団も予算要望として提出している「要援護者除雪費助成制度の改善」が盛り込まれたほか、市民生活を守るための提案がいくつかが計上されています。

- ◆ 除雪費助成制度は、これまで一般地域(限度額4万1000円)と多雪地域(限度額6万5600円)を区分していたものを全市統一し7万2100円に引き上げる提案です。
- ◆ そのほかの主な前進面としては、次の点があります。
- ◆ 広島平和記念式典への中学生派遣人数を市内中学校の代表生徒8人から市内全中学校の代表生徒24人に増員
- ◆ コロナ禍の影響で夜間の運行が困難となっているタクシー事業者への支援
- ◆ 若者の奨学金の返還を支援する制度の創設
- ◆ 不妊不育治療費支援で、体外受精や男性不妊等の治療に対する助成の拡充
- ◆ 子ども医療費助成制度で完全無料化の対象を市民税非課税世帯の



- ◆ 高校卒業相当の年齢まで拡充
 - ◆ 特別支援学校の児童生徒への通学費の支援
 - ◆ ファミリーサポートセンター利用料金の助成対象を児童扶養手当の受給世帯まで拡充
 - ◆ 児童養護施設の職員体制の強化
 - ◆ 教育補助員、介護員の増員
 - ◆ 私立高等学校の学費助成の拡充
 - ◆ 個別避難計画に基づく避難訓練の実施をサ
- これらの新年度予算案は、3月1日に始まる3月定例議会に提案され、審議されます。
- 一方、新年度予算案では、これまでの地域活動支援事業の代わりに「地域独自の予算」が計上されていますが、その予算規模は9400万円あまりと、地域活動支援事業の2億円から大きく減少しています。
- ポルトする防災アドバイザーの増員

日本共産党上越市議員団ニュース
 No.782 2023年2月26日
 連 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
 絡 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
 先 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))

上越保健所管内新型コロナ感染症
 感染者発生状況 (2月5日現在)
 2/12~2/18
 感染者総数 352人(前週-220)
 1日平均 50.3人(前週-31.4)